

令和7年度 計画変更

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書
(農 村 地 域 防 災 減 災 事 業)

阿 蘇 原 地 区

宮 崎 県

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地域及び地積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気象及び海象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	2
3.	海 象	3
第 2 節	土地状況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土地分類	4
3.	土地利用の状況	4
4.	土地所有の状況	5
第 3 節	水利状況	5
1.	用水状況	5
2.	排水状況	7
3.	河川状況	9
第 4 節	道路概況	9
1.	道路概況	9
2.	主要道路一覧表	9
第 5 節	地域農業の概況	10
1.	産業別就業人口	10

2.	経営耕地広狭別農家数及び 耕地の分散状況並びに 専兼業別農家数	10
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
4.	主要作物作付状況	11
5.	農業の動向	11
第 6 節	地域環境の概況	11
第 4 章	一般計画	12
第 1 節	事業計画の要旨	12
1.	要 旨	12
2.	事業別面積	12
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	12
1.	営農計画の概要	12
2.	土地利用区分	12
3.	作付方法	13
4.	生産計画	13
5.	労働改善計画	14
6.	級地別土地利用区分	14
7.	土地配分計画	15
第 3 節	用水計画	15
1.	計画基準年	15
2.	計画かんがい方式	15
3.	計画用水系統	15

	4.	計画用水量	15		2.	暗渠排水	22
	5.	水源計画	16		3.	客 土	22
第 4 節		排水計画	18		4.	農地保全	22
	1.	計画基準雨量	18	第 10 節		老朽ため池改修計画	23
	2.	計画排水方式	18		1.	洪水吐改修計画	23
	3.	計画排水系統	18		2.	提体補強計画	23
	4.	計画排水量	18		3.	取水施設改修計画	23
	5.	排水対策	18	第 5 章		主要工事計画	23
	6.	湛水検討	19	第 1 節		用水施設	23
第 5 節		道路計画	19		1.	貯水池	23
	1.	道路及び索道	19		2.	頭首工	24
	2.	路線配置図	19		3.	揚水機	24
第 6 節		農用地造成計画	20		4.	用水路	24
	1.	農用地造成計画	20		5.	その他かんがい施設	25
	2.	土壌改良	20	第 2 節		排水施設	25
第 7 節		洪水調節計画	20		1.	排水水門	25
	1.	計画基準雨量	20		2.	排水機	25
	2.	計画洪水量及び調節量	20		3.	排水路	25
	3.	貯水池	20		4.	その他排水施設	25
	4.	洪水調節検討	21	第 3 節		道路及び索道	26
	5.	管理計画	21		1.	道 路	26
第 8 節		干拓計画	21		2.	索 道	26
第 9 節		農用地整備計画	21	第 4 節		農用地造成	26
	1.	区画整理	21		1.	農用地造成工	26

2.	除礫	26
3.	土壌改良	27
第 5 節	洪水調節施設	28
1.	貯水池	28
2.	頭首工及び導水路	28
第 6 節	干拓施設	28
1.	堤 防	28
2.	潮止め	28
3.	付属施設	28
4.	埋 立	28
第 7 節	農用地整備施設	29
1.	区画整理	29
2.	暗渠排水	29
3.	客 土	30
4.	除礫	30
5.	農地保全	30
第 8 節	老朽ため池改修施設	31
1.	貯水池	31
2.	提体補強施設	31
第 6 章	附帯工事計画	31
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	31
第 8 章	環境との調和への配慮	31
第 9 章	換地計画の概要	32
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	32

第 2 節	換地区の設定	32
1.	換地区の名称、所在、面積	32
2.	換地区を設定する理由	32
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	32
1.	従前の土地の地積の基準	32
2.	用途別予定地積	32
3.	農用地集団化の方針	33
4.	非農用地の換地の方法	33
第 4 節	土地の評価及び精算の方法	33
1.	評価の方法	33
2.	精算の方法	33
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	33
第 10 章	事業費の総額及び内訳	34
第 11 章	効 用	35
第 12 章	関連する事業	35
第 13 章	現況・計画図面	35
1.	計画一般図	35
2.	一般計画平面図	35

第 1 章 目 的

本地区は、高千穂町中心部より北東部に位置し、高千穂土地改良区の管理する用水路L=20kmの一部である。本地区の用水路は明治29年に完成通水しているが、法面の土圧等により、脆弱化した測壁の傾きもみられ、コンクリート柱の梁を使用し、倒壊を防止している状況である。また、水路法面は、降雨等により緩み孕んでいることから法面が崩れ、水路が埋没し、水路の決壊等が頻繁に発生している状況である。水路の崩落や漏水及び溢水による農地・農業用施設、公共用施設災害を未然に防止し、安定した農業経営を図るためにも、早急な整備が必要となっている。

第 2 章

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
ため池等整備事業(土砂崩壊防止)	宮崎県 西臼杵郡高千穂町

第 2 節 地 積

(第 2 表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	採草地 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
ため池等整備事業(土砂崩壊防止)	西臼杵郡高千穂町	84.3	-	-	-	-	84.3	
合 計		84.3	-	-	-	-	84.3	

第 3 章 現 況
第 1 節 気 象及び海 象
1 一般気象

(第3表－1)

観 測 所 名	延岡測候所	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計	備 考
観 測 期 間	平成 20年～平成 29年	5月～10月	11月～4月	又 は 平 均	
平 均 気 温 (℃)		23.2	10.5	16.9	
降 水 量	平 均 (mm)	1,827.6	654.9	2,482.5	
	基 準 年 (mm)	－	－	－	
降 水 日 数	平 均 (日)	107.6	78.3	185.9	
	基 準 年 (日)	－	－	－	
根 雪 期 間		一 月 一 日 ～ 一 月 一 日 一 日 間			
無 霜 期 間		一 月 一 日 ～ 一 月 一 日 一 日 間			
最 多 風 向		W	最 大 風 速 (風 向)	21.8 m/s (N)	最多風向発生時期： 1月～12月 最大風速発生年月日： 平成29年10月29日

2 特殊気象

(第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
延岡測候所																
観 測 期 間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
昭和 37年～平成 29年																
最 大 日 雨 量 (mm)	310.0	H23.10.21	1/ 21	310.0	S41.8.15	1/ 21	305.0	S38.8.9	1/ 19	296.0	H19.7.13	1/ 16	291.0	H26.6.4	1/ 15	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	79.0	H28.9.19	1/ 43	77.7	S38.10.25	1/ 39	74.0	S43.9.24	1/ 25	68.0	H1.9.12	1/ 16	67.0	H21.8.17	1/ 13	
最大4時間雨量 (mm)	229.0	H13.10.16	1/ 85	211.0	H28.9.20	1/ 49	194.0	H16.10.20	1/ 29	174.0	H12.9.22	1/ 16	163.0	H23.10.21	1/ 11	
最大連続雨量 (mm)	475.0	H17.9.6	1/ 77	440.0	S41.8.16	1/ 54	439.0	H28.9.20	1/ 53	404.7	S38.8.10	1/ 36	356.0	H13.10.16	1/ 20	
最大連続干天日数 (日)	76	S53.11.14 ～ S54.1.28	1/ 34	74	S41.12.20 ～ S42.3.3	1/ 29	72	S48.11.10 ～ S49.1.20	1/ 24	63	S58.10.20 ～ S58.12.21	1/ 12	60	S55.12.3 ～ S56.1.31	1/ 9	

3. 海 象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備 考
観測期間								
実 測 値								

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
	傾斜区分	1/1000 以上	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最 高		最 低
										8～° 10°	10° ～15°	8° ～15°						
ため池等整備事業(土砂崩壊防止)	面積(ha)			84.3			84.3									390	350	
	比率(%)			100			100											
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合 計	面積(ha)			84.3			84.3											
	比率(%)			100			100											

(第4表-1-2)

項 目	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)		備 考		
	土 壌 断 面							堆積様式	母 材	事 業 名			
	土 壌 統 (区) 名	色	腐 食	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性				泥炭層・黒泥層・及びグライ層		ため池等整備事業(土砂崩壊防止)	計
表 土 一 層						下 層 土 二 層	三 層						
篠 永 統	黄 褐	あ り	な し	あ り	CL	CL	SiCL	な し	風積(火山性)崩 積	非 固 結 岩 水 成 岩	61	61	
計											61	61	

該 当 な し

(第4表-1)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2. 土地分類 該 当 な し

(第4表-2-1)

市町村名	級 地 別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※は傾斜 傾斜以外の 要因によるもの	
計														

該 当 な し

(第4表-2-2)

市町村名	級 地 別	干 拓					備 考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計	
計							

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村 地域 防災 減災	高千穂町	84.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.3	
合計		84.3											84.3	

4. 土地所有の状況

(第4表－4)

事業名	区分	所有別	個人所有				計	備 考
農村地域 防災減災	面	積 (ha)	84.3				84.3	
	受 益 者 数 (人)		187				187	
	筆	数 (筆)	719				719	
	権 利 関 係							
	備 考 (関 係 戸 数)		187				187	
合 計	面	積 (ha)	84.3				84.3	
	受 益 者 数 (人)		187				187	
	筆	数 (筆)	719				719	
	権 利 関 係							
	備 考 (関 係 戸 数)		187				187	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

別 紙 添 付

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項 目	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		20ha以上		20ha～10ha		10ha未満									
	施 設 名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農 村 地 域 防 災 減 災	貯 水 池														
	井 堰	3	84.3					3	84.3			3	11.2000	11.2000	
	自 然 取 入 口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計	3	84.3					3	84.3			3	11.2000	11.2000	
合 計		3	84.3					1	84.3			3	11.2000	11.2000	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
農村地域防災減災事業	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路	幹線用水路	84.3	L型水路	1.1m × 0.6m	1896年	崩落	
	そ の 他							
	計		84.3					
合 計			84.3					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該 当 無 し

(第5表-3-1)

事業名	項目 系 統 名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m3)	不 足 水 量				平均減産量		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				(m3/s)	(m3/s)	(千m3)	(千m3)			
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

該 当 無 し

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい面積 (ha)	水 温 (°C)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該 当 無 し

(第5表－3－3)

事業名	想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (百万円)						備 考
	田	畑	そ の 他	計	作 物	農 地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	計										
合 計											

2. 排水状況

(1) 排水系統 該 当 無 し

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該 当 無 し

(第5表－4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			100ha以上		100ha～50ha		50ha未満						
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農村地域防災減災事業	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合 計													

(イ)改修を要する施設一覧表

該 当 無 し

(第5表－5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益 面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	自然	排 水 路							
		水 門							
	機械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排 水 路 及 び 排 水 機							
	計								
	自然	排 水 路							
		水 門							
	機械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排 水 路 及 び 排 水 機							
	計								
合 計									

(3)排水に関する被害状況

該 当 無 し

(第5表－6)

事業名	項 目 系 統 名	排水 面積 (ha)	降 水 量 (mm/hr)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平均減産量		備 考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		そ の 他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平 均														
			基準年														
			平 均														
			基準年														
	計		平 均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川状況

該 当 無 し

(第5表－7)

項 目 河川名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考

(2) 土壌の浸食に関する被害状況

該 当 無 し

(第5表－8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
過 去 の 最 大 被 害 額					
平 均 被 害 額					

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

2. 主要道路一覧表

該 当 無 し

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改善の要否	備 考
				全 幅	有 効			

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小売業 飲食店	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	医療 教育 その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高千穂町	6,531	1,528	103	4	3	710	348	19	210	1,219	59	47	744	320	1,217	
計	6,531	1,528	103	4	3	710	348	19	210	1,219	59	47	744	320	1,217	
比 率 (%)	100.0	23.3	1.6	0.06	0.0	10.9	5.3	0.3	3.2	18.7	0.9	0.7	11.4	4.9	18.7	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備 考
		経営 耕地 なし	0.3 ha 未満	0.3 ～ 1.0	1.0 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地			計	1戸当 たり 団地数	団地当 たり面 積(ha)	専業	兼 業		
																						第一種	第二種	
高千穂町	1,504	1	13	635	336	54	29	3				433	0.66	0.29	0.06	0	0.00	1.01			419	165	487	専兼業別農家 戸数は販売農 家戸数
計	1,504	1	13	635	336	54	29	3				433	0.66	0.29	0.06			1.01			419	165	487	
比率(%)	100.0	0.1	0.9	42.2	22.3	3.6	1.9	0.2				28.8	65.4	28.7	5.9			100.0			39.1	15.4	45.5	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項 目		動 力 農 機 具						主 要 家 畜								備 考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳 用 牛		肉 用 牛		豚		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (千羽)	戸数 (戸)	
高千穂町	763	755	1,142	966	344	334	0	0	0	0	0	592	0	1	22,178	20	
計	763	755	1,142	966	344	334	0	0	0	0	0	592	0	1	22,178	20	
100戸当り数量(台・頭・千羽)	101		118		103				0		0		0		110,890		
利用戸数割合(%)	50.2		64.2		22.2				0.0		39.4		0.1		1.3		

4. 主要作物作付状況

(第7表－4)

市 町 村 名			宮 崎 県						計	平 均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			66,800						66,800			
総本地面積(ha)			63,400						63,400			
区分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	31,790						31,790		50.1	宮崎県作付率 106.4
	裏 作	飼肥料(畑含む)	10,310						10,310		16.3	
	小 計		42,100						42,100		66.4	
畑	春夏作	甘 藷・里 芋	18,100						18,100		28.5	
	秋冬作	野菜・工芸作類	8,800						8,800		13.9	
	小 計		26,900						26,900		42.4	
樹園地	表 作	みかん 他	2,990						2,990		4.7	
	小 計		2,990						2,990		4.7	
計			71,990						71,990		113.5	
市町村別延作付率(%)			-						-			

5. 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
変化の 状 況 (C年 を100 とする 指数)		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農 機 具 名	B	A	(高千穂町) 農振 H8. 3.25 野菜(夏秋きゅうり) S53.12.18 野菜(夏秋トマト) H4. 5.29 南九州畑作 S43. 7.30	A:平成27年 (農林業センサス) B:平成22年 (農林業センサス) C:平成17年 (農林業センサス)
	総 農 家 数	90	76	耕 地	98	97	水 稻	92	79	乳 用 牛	88	70	動力田植機	87	69		
	専 業 農 家 数	103	94	田	98	97	大根(秋冬)	88	80	肉 用 牛	100	79	乗 用 型 トラクター	92	79		
	第 一 種 兼業農家数	71	57	畑	98	97	里 芋	109	110	豚	99	77	コンバイン	79	65		
	第 二 種 兼業農家数	81	58	樹 園 地	98	92	甘 藷	125	142	ブロイラー	99	96					
	農 従 事 者 数	90	76														
変化の 理由	後継者不足による減少			高齢化による減少			高齢化による減少			後継者不足による減少			機械の大型化				

第 6 節 地域環境の概況

本地区は、高千穂町田園環境マスタープランに基づき環境配慮区域に区分されている。計画区域内の配慮すべき資源について地域住民や有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかった。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は、高千穂町中心部より北東部に位置し、高千穂土地改良区の管理する用水路L=20kmの一部である。本地区の用水路は明治29年に完成通水しているが、法面の土圧等により、脆弱化した測壁の傾きもみられ、コンクリート柱の梁を使用し、倒壊を防止している状況である。また、水路法面は、降雨等により緩み孕んでいることから法面が崩れ、水路が埋没し、水路の決壊等が頻繁に発生している状況である。水路の崩落や漏水及び溢水による農地・農業用施設、公共用施設災害を未然に防止し、安定した農業経営を図るためにも、早急な整備が必要となっている。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	農村地域防災減災事業																		計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)		
農業用用水路	84.3	-	-	-	-	84.3													84.3	
計	84.3			-	-	84.3													84.3	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、山間農業地帯であり、水稻をベースに肉用牛、茶、野菜、しいたけ等の複合経営が展開されている。また、隣接する県道は改良が進められており、生産物流の向上も図られ農業基盤の整備により生産拡大、農家所得の向上が期待される地区である。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	現況	84.3	-	-	-	-	-	84.3	-	-	-	84.3	
	計画	84.3	-	-	-	-	-	84.3	-	-	-	84.3	
	現況												
	計画												
計	現況	84.3	-	-	-	-	-	84.3	-	-	-	84.3	
	計画	84.3	-	-	-	-	-	84.3	-	-	-	84.3	

3. 作付方式 該当なし

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	現況																																							
	計画																																							

4. 生産計画 該当なし

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
	土地 利用 区分			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり収量増加	
		表作															
		裏作															
		計															
		表作															
		裏作															
		計															
合	計																

5. 労働改善計画 該 当 無 し

(第9表－4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増△減	
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
		人 力						
		機 械 力						
合 計								

6. 級地別土地利用区分 該 当 無 し

(第9表－5)

土地利用区分		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪 換 耕 地											
	畑											
	(普 通 畑)											
	(牧 草 畑)											
	樹 園 地											
	(果 樹 園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画 該当無し

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 面 積 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年 平成18年
2. 計画かんがい方式 自然流下方式
3. 計画用水系統 別紙添付
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系統名	種 別	面 積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量	損失 率	粗用水量		備考				
		事 業 名			普通期	代掻期	面積	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積	計画平 均単位 用水量	面積									
		農 村 地 域 防 災 減 災		計	計画平 均単位 用水量	計画代 掻単位 用水量		(mm/日)	(mm)		(ha)	(mm/日)		(日)				(ha)	(mm/日)		(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)
					(mm/日)	(mm)		(ha)	(mm/日)		(日)	(ha)		(mm/日)				(日)	(ha)		(mm/日)	(ha)		
高千穂	用水路	84.3		84.3	19	150(17)	84.3									0.3513	15	0.2066	0.4132					
計		84.3		84.3	19		84.3																	

(2) 営農飲雑用水 該当無し

(第10表-1-2)

区 分	利 用 目 的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単 位 給 水 量 (1/日)	最 大 給 水 量 (1/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当無し

(第10表-2)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
		a (千 m^3)	b (千 m^3)	C=a-b (千 m^3)	$d = \frac{c}{(1-\alpha)}$ (千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		損失率： α
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当無し

(第10表-3)

項目 貯水地名	流域面積 (km ²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
			事業名							
	直 接	間 接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当無し

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事業名			最大	平均		
					計				

(ウ) 揚水機

該当無し

(第10表-5)

項目 名称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
				計							

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	農村地域防災減災		計				
岩川用水路	84.3			0.4132	1.101	山留水路 三面張水路・四面張水路	
					計 1.101		

(オ) その他の水源施設

該当無し

(3) 水温水質

該当無し

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量 該当無し

2. 計画排水方式 該当無し

3. 計画排水系統 該当無し

4. 計画排水量 該当無し

(第 1 1 表－1)

項目 排水 系統名	受 益 面 積 (ha)			流 域 面 積 (Km ²)		基準雨量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ / s /Km ²)		基底流出量 (m ³ / s /Km ²)		全排水量 (m ³ /S)			単位排水量 (m ³ / s /ha)		備 考
	事 業 名						山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		
			計	山 地	平 地										山 地	
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当無し

(第 1 1 表－2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機 該当無し

(第 1 1 表－3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水路				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路 該当無し

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							

(4) その他 該当無し

6. 湛水検討 該当無し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路 該当無し

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効) × 延長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考

(2) 索道 該当無し

(第12表-2)

項目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 該当無し

(1) 農用地造成計画

(第 13 表-1)

項目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図 該当無し

2. 土壌改良 該当無し

(第 13 表-2)

項目 区分	面 積 (ha)	土壌統(区) 名	p H		置換酸度 (Y ₁)	りん 酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当 たり 所 要 量			備 考
			H ₂ O	KCl			石 灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調整計画

1. 計画基準雨量 該当無し

2. 計画洪水量及び調節量 該当無し

(第 14 表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピー ク 時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 該当無し

(第 14 表-2)

項目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 該当無し
 (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 //

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 //

5. 管理計画

- (1) 管理機構 該当無し
 (2) ダム管理操作上の各種基準 //
 (3) 洪水調節要領 //

第 8 節 千拓計画 該当無し

(第 15 表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当無し

(第 16 表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い 該当無し

(第 16 表-2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考

(3) 末端道水路配置図 該当無し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当無し

(第16表-3-1)

区分	項 目	面 積 (ha)			土壌統(区)名	基 準 雨 量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s/ha}$)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集水渠出口以下 の 排 水 方 法	備 考
		事 業 名								
				計						
	計									

(2) 心土破砕 該当無し

(第16表-3-2)

区分	項 目	面 積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備 考
		事 業 名					
				計			
計							

3. 客土 該当無し

(第16表-4)

区分	項 目	面 積 (ha)			土 壌 統 (区) 名	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土壌の性質		備 考
		事 業 名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)	
				計									
	計												

4. 農地保全

(1) 防災林 該当無し

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/S)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工 該当無し

(第16表-5-2)

名称	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	水量		備考
					単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m^3/s)	

(第 16 表-5-3)

項 目 施 設 名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
計				

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当無し

(2) 計画洪水量 //

2. 堤体補強計画 //

3. 取水施設改修計画 //

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池 該当無し

(第 17 表—1)

名 称				位 置						備 考
堤 体	形 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	形 式	洪 水 量 (m ³ /s)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)	

2. 頭首工 該当無し

(第17表-2)

名 称				位 置				備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付 帯 施 設	
		固 定 部	可 動 部	計				

3. 揚水機 該当無し

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚 水 量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名										
	防災減災		計								
岩川用水路	84.3		84.3	0.4132	0.681	0.420	1.101	山留水路 三面・四面	1/83～730		
計	84.3		84.3	0.4132	0.681	0.420	1.101				

5. その他かんがい施設 該当無し

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当無し (第 18 表－1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備 考
計							

2. 排水機 該当無し (第 18 表－2)

項 目 名 称	位 置	排水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口径 (mm)	台数 (台)	型 式	動力 ()	台数 (台)	
計											

3. 排水路 該当無し (第 18 表－3)

水路名	項目	受 益 面 積 (ha)		通 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
		事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
			計								
										-	
計											

4. その他排水施設 該当無し

第 3 節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表 該当無し

(第 19 表-1)

区 分	項 目	路 線 名	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
					名 称	構 造	数量(箇所)				
	計										

(2) 道路主要構造物 該当無し

(第 19 表-2)

路線名	項 目	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇所数(箇所)	備 考

2. 索 道 該当無し

(第 19 表-3)

名 称	項 目	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
					形 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 抜 根 該当無し

(第 20 表-1)

区 分	項 目	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数(本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計						

2. 除 礫 該当無し

(第 20 表-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

(3) 開墾作業

該当無し

(第20表-3)

区 分 \ 項 目		面 積	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法	(ha)		
計				

(4) 地目変換

該当無し

(第20表-4)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

該当無し

(第20表-5)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

該当無し

(第20表-6)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

3. 土壌改良

該当無し

(第20表-7)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第 5 節 洪水調整施設 該当無し

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路 該当無し

(1) 頭首工

(第 2 1 表－2)

名 称			位 置					備 考
形 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位	付帯施設	
			固 定 部	稼 働 部	計			
計								

(2) 導水路

該当無し

(第 2 1 表－3)

水路名	項 目 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第 6 節 干拓施設

1. 堤 防

該当無し

(第 2 2 表－1)

名 称	形 式	延 長 (m)	構 造					原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤頂標高(m)	盛土幅(m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め

該当無し

(第 2 2 表－2)

名 称	項 目 工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮止め堤標高(m)	最大流速(m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

4. 埋 立

該当無し

(第 2 2 表－3)

区 分	項 目 面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量(m ³)	施 工 方 法	備 考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当無し

(1) 区画整理 該当無し

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等 該当無し

(第23表-2)

項 目 区 分	数 量	規 模	備 考	備 考
計				

(3) 末端排水路等 該当無し

(第23表-3)

項 目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 暗渠排水 該当無し

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排 水 施 設			備 考
	事 業 名													排 水 施 設			
			計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量 (m/ha)	
計																	

(2) 心土破碎 該当無し

(第23表-4-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

該当無し

(第23表-5)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)			客 入 土 量 (m³)	土取場土量 (m³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事 業 名							
			計					
計								

4. 除 礫

該当無し

(第23表-6)

区 分 \ 項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

該当無し

(第23表-7)

区 分 \ 項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数(本)	備 考
計						

(2) 排水路

該当無し

(第23表-8)

区 分 \ 項 目	延 長 (m)	流 量 (m^3/s)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当無し

(第23表-9)

名 称 \ 項 目	構 造	数 量	備 考
計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該 当 無 し

(第 2 4 表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該 当 無 し

(2) 漏水防止工 該 当 無 し

第 6 章 附帯工事計画 該 当 無 し

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 2年度

完了 令和 10年度

第 8 章 環境との調和への配慮

本地区は、高千穂町田園環境整備マスタープランに基づき環境配慮区域に区分されている。計画区域内の配慮すべき環境資源について地域住民や有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかったが、受益地より下流側の河川環境への負荷を低減させるように汚水の流出防止に努めることにより、環境との調和に配慮する計画である。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当無し

第 2 節 換地区の設定 該当無し

1. 換地区の名称、所在、面積 該当無し (第 2 5 表－ 1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
計		

2. 換地区を設定する理由 該当無し

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該当無し (第 2 5 表－ 2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

2. 用途別予定地積 該当無し (単位：ha) (第 2 5 表－ 3)

換 地 区 名	用途 (取得 予定者)	非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地										非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地										機能交換に係る土地					一般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施行地 域に含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			合 計	特定用途用地			異種 目 換地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他			合 計
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	小 計		宅 地	そ の 他	小 計		施 設 用 地	農 漁 経 営 合 理 化	生 活 上 ・ 経 営 上 の 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等							
前	後																												
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
合計	従前の土地																												
	換 地																												

3. 農用地集団化の方針

該当無し

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地の方法

該当無し

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

該当無し

1. 評価の方法

〃

2. 清算の方法

〃

第5節 換地計画樹立の年度計画

〃

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

(第 26 表)

種 目	事 業 量	事 業 費	備 考	種 目	事 業 量	事 業 費	備 考
1. 工 事 費	1,101.0 m	357,132 千円	平成31年度単価	4. 換 地 費		千円	
三面張水路	739.0 m	千円					
四面張水路(軽量三面水路Ⅱ型)	153.0 m	千円		5. 工 事 雑 費	1.0 式	9,932 千円	
三面張水路(山留工)(直L水路+擁壁)	209.0 m	千円					
		千円					
				計		400,000 千円	
2. 用地買収補償費		6,446 千円		地 方 事 務 費	1.0 式	9,751 千円	
3. 測 量 設 計 費	1.0 式	26,490 千円		合 計		409,751 千円	

事業費の内訳

種 目	事 業 量	事 業 費
工 事 費	1, 101. 0 m	357, 132 千円
三面張水路	739. 0 m	千円
四面張水路(軽量三面水路Ⅱ型)	153. 0 m	千円
三面張水路(山留工)(直L水路+擁壁)	209. 0 m	千円
測 量 設 計 費	1. 0 式	26, 490 千円
用地買収補償費		6, 446 千円
換 地 費		千円
工 事 雑 費	1. 0 式	9, 932 千円
小 計		400, 000 千円
地 方 事 務 費	1. 0 式	9, 751 千円
合 計		409, 751 千円

[illegible][illegible]

第 11 章 効 用

(第 27 表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額	年 総 増 加 所 得 額	備 考
減 産 防 止 効 果	千円	千円	
維 持 管 理 費 節 減	△ 180 千円	千円	
災 害 防 止 効 果	22,332 千円	千円	農業 11,987 千円 一般 6,941 千円 公共 3,404 千円
景 観 ・ 環 境 保 全 効 果	10,823 千円	千円	
計	32,975 千円	千円	

<参 考>

総費用 : 338,486 千円 総便益額 : 709,069 千円
 総費用総便益比 : 2.09

第 12 章 関連する事業 該当なし

(第 28 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第 13 章 現況・計画図面

1. 計画一般図 別紙添付
2. 一般計画平面図 別紙添付